

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 HITONOWA南大泉教室		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 28日		～ 令和 7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 20日		～ 令和 7年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の保護者や児童の実情を踏まえサービスが利用しやすいように、送迎サービスを行うことや、サービス内容の充実を図るなどの環境を整えている。	送迎範囲を限定しつつも、可能な限りの送迎を実施していることで通いやすい環境を整えている。時期やその日の状況に合わせて保護者の方のご協力も頂きながら、実施している。提供するサービスについても充実が図れるように取り組み、言語療法の実施やイベントの開催などを行うようにしている。	送迎体制の充実に向けて、ドライバーの確保(運転可能な職員の確保)に努め、送迎ルートの管理や確認がしやすいツールの整備に取り組む。 イベントの開催など、様々なことを「経験出来る機会」を増やしていく。
2	「楽しい場所」、「自分の居場所」と感じられるように努めている。	利用時の「安心」に繋がるように、子どもたちの意思や気持ちの表出を大切し、共感する支援を意識している。子どもたちが「困った時」にその場で対応し、困りごとをすぐに解決出来ることから関係づくりに取り組んでいる。	活動や遊びといった場面以外のサービス提供時間内での細かな関わり(食事や排せつの場面等の生活場面等)を充実出来るように、職員の研修機会や会議の充実に取り組み、細かな支援に繋がります。
3	活動内容の充実を図ることが出来るように工夫している。	手作りの教材なども作成しながら、活動内容に児童たちが飽きないように工夫している。複雑になり過ぎないようにし、繰り返し行う事で、「出来ること」や「自信」に繋げている。	活動内容のバリエーションを増やししながら、5領域に対応したプログラムとしての充実を図る。個別支援計画において、より具体的な形での支援内容を計画し、個別の活動に取り組む。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもたちとの交流、地域との連携を十分に図ることが出来ていない。	現状としては、事業所内の活動や事業所の運営に係る充実を図ることが優先的な課題となっている為、まだ十分に地域との関わりについての検討が出来ていない。	今後は、地域の社会資源の活用や地域との連携、地域の他の児童との交流を図る機会を増やせるように取り組みをすすめていと考えています。
2	事業所として、運営に関する事、非常時や事故対応、サービス提供に係る情報等、研修機会の提供といった細かな情報の発信が十分に出来ていない。	現状としては、事業所内の活動や事業所の運営に係る充実を図ることが優先的な課題となっている為、まだ十分に情報の発信に関係することについての検討が出来ていない。	事業所として求められる「情報の提供」が出来るように、体制の整備等に取り組めます。今年度は、保護者会を行い、保護者間の情報交換と事業所に対する理解を図って頂く機会を設けました。次年度以降も定期的開催に取り組めます。
3			